

各 位



大阪アジア映画祭2010

OSAKA ASIAN FILM FESTIVAL 2010

日本初上映&劇場未公開の珠玉の アジア映画12本、上映作品決定!!

3月10日(水)に開幕する「大阪アジア映画祭2010」のアジア映画最新作初上映のラインナップが決定いたしました。アジア映画を評論する第一人者・暉峻創三プログラミング・ディレクターが選出した決定作品12本は、クローゼン作品を除き、すべてジャパンプレミア! また、自国以外で世界初上映となる作品も2本など、《大阪発。日本全国、そしてアジアへ!》のテーマそのもの、まったく見たことのないアジア映画が、大挙大阪にやってきます。

オープニング作品は香港映画の巨匠ジョニー・トー監督の『冷たい雨に撃て、約束の銃弾を』。『エグザイル/絆』に続く話題作のジャパンプレミア。なんとジョニー・トー監督の舞台あいさつ付きという、まさに映画ファンの夢の開幕となります。さらに、今年のオープニング作品『チョコレート・ファイター』で日本中を魅了したジージャ・ヤニン の新作『ジージャ:頑固に、美しく、猛々しく』、いま話題の台湾映画界からは、今年の台湾映画ナンバーワン大ヒット作『聽說』(エディ・ポン主演)、インドからは『スラムドッグ\$ミリオン』の現地コーディネーターを務めたアヌラグ・カシヤブ監督による大ヒット話題作『デーヴ D』など、興奮と期待の話題作がめじろ押しです。

『冷たい雨に撃て、約束の銃弾を』は香港・フランス合作作品。その他、韓国、中国、台湾、タイ、フィリピン、マレーシア、インド、アメリカ、そして日本などから、多種多様なアジア映画が勢揃いいたします。

ジョニー・トー監督のほか、ゲストも多数来阪予定ですが、本日は、決定しましたアジア映画最新作12本、ならびに関連企画の「ヤスミン・アハムド監督追悼特集」のご案内をさせていただきます。

2010年3月、大阪に元気を呼び込む春一番の熱い“映画旋風”が巻き起こります。

テーマ「大阪発。日本全国、そしてアジアへ!」

◎メイン映画祭日程◎
2010.3.10(水)~14(日)

主催:大阪アジア映画祭実行委員会

(大阪市、NPO法人コミュニティシネマ大阪、財団法人大阪城ホール、財団法人大阪21世紀協会、朝日放送株式会社、ぴあ株式会社)
後援:経済産業省/文化庁/社団法人映画産業団体連合会/社団法人日本映画製作者連盟/社団法人外国映画輸入配給協会/
全国興行生活衛生同業組合連合会/生活衛生同業組合大阪興行協会/大阪商工会議所/FM OSAKA/FM COCOLO

支援:芸術文化振興基金助成事業

協賛:日本航空/ディー・エイチ・エル・ジャパン株式会社/株式会社銀座サクラヤ

協力:一本松海運株式会社/大阪ロケーション・サービス協議会/サントリーパブリシティサービス株式会社/東京国際映画祭/
中之島倶楽部/リーガロイヤルホテル

日本初上映&劇場未公開のアジア映画最新作12本決定!!

●会期：3月10日(水)～14日(日) 会場：ABCホール(福島・ほたるまち)

◎オープニング作品(3/10wed.18:30予定)

日本
初上映

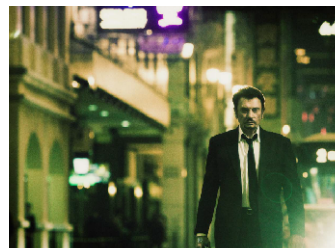
『冷たい雨に撃て、約束の銃弾を』Vengeance

2009年/フランス・香港/108分/配給:ファントム・フィルム

監督:ジョニー・トー 出演:ジョニー・アリディ、シルヴィー・テステュー、アンソニー・ウォン

表向きはフランス料理店のオーナーだが、腕利きの殺し屋だった過去をもつ男、コステロ。彼は香港で暮らす最愛の娘と、その家族が何者かに惨殺されたことを知らされ、すべてをなげうって単身香港へ乗り込む……。『エグザイル/絆』で、その完成度の高さからジョン・ウー監督に続く香港の巨匠として全世界で賞賛を受けたジョニー・トー監督の最高傑作が遂に誕生!『ザ・ミッション 非情の掟』『エグザイル/絆』に続いて投じた、渾身の絆エンタテインメント!!

来日ゲスト:ジョニー・トー監督



◎クロージング作品(3/14sun.19:15予定)

関西
初上映

『東京タクシー ディレクターズ・カット版』Tokyo Taxi

2009年/韓国・日本/76分/提供:MUSIC ON!TV/SPEEDSTAR RECORDS

監督:キム・テシク 出演:山田将司(THE BACK HORN)、山崎一、ユ・ハナ、キム・ジョンハ

売れないロックバンドをやっている青年が、韓国で開催されるロックフェスの出演依頼を受ける。しかし、彼は飛行機恐怖症。困り果てた彼は、なんとタクシーで韓国のソウルに向かうことに。中年のタクシードライバーを巻き込んで、東京、釜山、ソウルと、国境を越えてジャパン・タクシーが疾走する!日本に留学体験のあるキム・テシク監督による、驚きと笑い、切なさに溢れた新感覚ロードムービー!



◎その他、アジア映画最新作上映作品(3/11～14上映)

『デーヴ D』Dev. D

2009年/インド/144分

監督:アヌラグ・カシヤブ 音楽:アミト・トリヴェーディー

出演:アバイ・デーオール、カールキー・コシュリン、マーヒー・ギル

『スラムドッグ \$ミリオネア』の現地コーディネーターを務めたアヌラグ・カシヤブ監督が、映像・脚本・音楽などあらゆる要素でインド映画の枠を超越し製作した大ヒット作。間違った噂を信じたために恋人を失った青年が迎える人生とは……。

日本
初上映



『ホワイト・オン・ライス』White on Rice

2009年/アメリカ/85分

監督:デイヴ・ボイル 出演:渡辺広、裕木奈江、高田滯、ジェームズ・カイソン・リー

アメリカの日系人家庭を舞台に、アメリカ人監督が描いた爆笑アジア・アメリカン映画。家庭内では母国語と母国文化で暮らす在米日本人だが……。主人公を『硫黄島からの手紙』の渡辺広、妹役を裕木奈江が熱演。

2009年 ロサンゼルスアジア太平洋映画祭脚本賞受賞

アジア
初上映



『聴説』Hear Me

2009年/台湾/109分

監督:チェン・フェンフェン(鄭芬芬) 出演:エディ・ボン、アイビー・チェン、ミシェル・チェン

映画、テレビ(「ハチミツとクローバー～蜂蜜幸運草～」等)で大活躍の若手エディ・ボン主演の09年台湾映画ナンバーワン大ヒット作。笑いあり涙ありの青春ヒューマンドラマ。エディ演じる陽気な弁当屋の一人息子と、プールで出会った姉妹のサイレントな恋物語。

日本
初上映



『パパドム ～パパの味～』 Papadom

2009年 / マレーシア / 115分 監督: アフドリン・シャウキ

出演: アフドリン・シャウキ、リヤナ・ジャスメイ、キュー・ハイダール、ピート・テオ

映画監督、俳優、コメディアン、音楽家、司会者とマルチな才能を発揮する鬼才アフドリン・シャウキ監督による監督兼主演作。仕事中毒で家庭をかえりみなかった男が家族愛に目覚め、娘への愛を不器用ながらもさまざまな形で表現しようとする、笑いあり、涙ありのミュージカル・ハートウォーミングコメディ。“マレーシア新潮”の代名詞的歌手ピート・テオ共演。

マレーシア映画祭 2009: 最優秀作品賞、最優秀主演男優賞、最優秀主演女優賞、最優秀原作賞、最優秀映画音楽賞受賞

海外
初上映



『見捨てられた青春』 Squalor

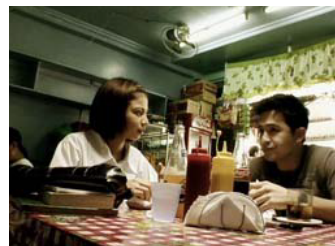
2009年 / フィリピン / 91分

監督: ジュゼッペ・ベード・サンベドロ 出演: デニス・トリロ、シド・ルセロ、アーノルド・レイエス

結婚詐欺師、身重の妻を持つ夫など4人の若者たちの夢と絶望、そして恋する想いがマニラの吹き溜まりのような一角で交錯していく、フィリピン版『恋する惑星』。大胆なカメラワークと、エッジでメロウな音楽、そしてイケメン男子たちのタフな生きざまが観客の魂を驚づかみに。

第14回釜山国際映画祭コンペ部門スペシャルメンション受賞

日本
初上映



『トルソ』 Torso

2009年 / 日本 / 104分 監督・脚本・撮影: 山崎裕

出演: 渡辺真起子、安藤サクラ、蒼井そら、ARATA、石橋蓮司、山口美也子

『誰も知らない』『歩いてても歩いてても』などの撮影監督・山崎裕が、企画・製作・脚本・撮影も務めた監督デビュー作。頭部も手も足もない男性型の人形=トルソを抛り所に生きる姉と、奔放に生きる妹の愛と性の問題作。カメラマン出身監督らしい繊細な映像で、女性の心理を描いた傑作。

日本
初上映



『KJ 音楽人生』 KJ: Music and Life

2009年 / 香港 / 90分

監督: チョン・キンワイ(張経緯) 出演: K J

神童K Jは、その天才的音楽センスで11歳にしてピアノコンクールで優勝する。だが彼も成長するに従い、普通の人間としての逡巡や親との関係などの悩みに直面するのだった……。アン・ホイ監督の愛弟子・チョン・キンワイの長編デビュー作。2010年香港電影評論学会大賞グランプリ。

日本
初上映



クーニャン

『紡績姑娘』 Weaving Girl

2009年 / 中国 / 100分

監督: ワン・チュアンアン(王全安) 出演: ユー・ナン、グオ・タオ

不治の病に侵された紡績工場で働く若妻が、死の前に昔の恋人に会おうと夫のもとから旅立つ。『トゥヤーの結婚』でベルリン国際映画祭グランプリに輝いた中国新世代の旗手ワン・チュアンアン監督が、『スピード・レーサー』でハリウッド進出も果たした若手人気女優ユー・ナンと再び組んで完成した話題作。

日本
初上映



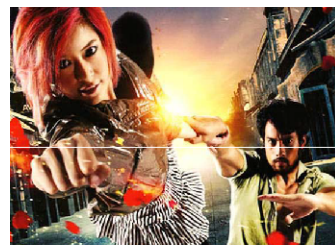
『ジージャー: 頑固に、美しく、猛々しく』 Raging Phoenix

2009年 / タイ / 120分

監督: ラシェーン・リムタクン 出演: ジージャー・ヤニン、カズ・パトリック・タン

『チョコレート・ファイター』で鮮烈なデビューを飾った最強美少女ジージャー、待望の主演第2作。前作にはなかった“大人の女”の側面も織り交ぜて、さらに華麗で、さらに猛々しいアクションが炸裂する。プロデュースはもちろん、『トム・ヤム・クン!』『チョコレート・ファイター』のブラッチャー・ピンゲーオ。

海外
初上映



『チャウ』Chaw

2009年 / 韓国 / 122分

監督:シン・ジュンウォン 出演:オム・テウン、チョン・ユミ、ユン・ジェムン、ジョシア・D・リ

のどかな山間の村に、ばかでかい人食いノシシが現れた！ はたして村人たちは、奴との戦いに勝利することができるのか？ 映画や韓流テレビドラマで大人気のオム・テウン主演の特撮“怪物”スペクタクル。

日本
初上映



ヤスミン・アハマド監督追悼特集

会期：3月10日(水)～14日(日) 会場：ABCホール、シネ・ヌーヴォ

2009年7月に51歳の若さで急逝されたマレーシアのヤスミン・アハマド監督の追悼特集を開催します。『ムクシン』上映で、大阪アジア映画祭2007に参加されたヤスミン監督。昨年の『ムアラフ』上映の際には、スケジュールの都合で惜しくも参加されませんでした。大阪に強い愛着を持ってくださっていた監督でした。今回で3度目のアジア映画祭上映となりますが、それが追悼特集とは残念でなりません。遺作『タレントタイム』、そして『ムアラフ』『ムクシン』、さらに最後の出演作となった『心の魔』(ホー・ユーハン監督)を上映し、ヤスミン監督を偲びます。

『タレントタイム』Talentime

2008年 / マレーシア / 120分 / 提供:東京国際映画祭

監督:ヤスミン・アハマド 音楽:ビート・テオ

出演:マヘシュ・ジュガル・キショー、パメラ・チョン・ヴェン・ティーン、ムハマド・シャフィー・ナスウィブ

ヤスミン監督の早すぎる遺作は、音楽の才能を競い合う「タレントタイム」をめぐる高校生たちの青春群像劇。マレー系、中国系、インド系など多様なマレーシア社会を背景に、夢と絶望、そして融和をうたったヤスミン監督、必見の傑作!!



『ムアラフ 改心』The Convert

2007年 / マレーシア / 87分 / 提供:東京国際映画祭

監督:ヤスミン・アハマド 出演:ブライアン・ヤップ、トニー・サバリムトゥ、シャリファ・アマニ、サイド・ザイナル・ラシッド

父の虐待から逃げだした若い姉妹と青年教師の出会いを軸に、瑞々しい感性で宗教や信仰をめぐるテーマに踏み込んだ傑作。多民族国家マレーシアで、生涯の主題とした“民族、宗教の壁を越えること”を描いたヤスミンの真骨頂!

『ムクシン』Mukhsin

2006年 / マレーシア / 97分 / 提供:国際交流基金

監督:ヤスミン・アハマド 出演:ムハマド・シャフィー、シャリファ・アルヤナ

長編デビュー作『ラブン』(2003年)で注目されたヤスミン監督が、同じ主人公オーキッドの子ども時代に遡って描いた連作“オーキッドシリーズ(4部作)”の最終編。友情と恋のはざまに揺れる思春期の輝きを瑞々しく描いた傑作。

『心の魔』At the End of Daybreak

2009年 / マレーシア・香港・韓国 / 93分 / 提供:東京国際映画祭

監督:ホー・ユーハン 音楽:ビート・テオ 出演:チョイ・ティンヤウ、クララ・ワイ、ジェーン・メンホイ

ヤスミン監督の若き盟友であり、マレーシア映画の中核ホー・ユーハンのサスペンフルな新作。23歳のタッチャイは女子高生インと交際しているが、両方の親が介入して事態は緊迫していく……。ヤスミン監督の最後の出演作となった。

大阪アジア映画祭<メインプログラム>アジア映画最新作上映

●日程：3月10日(水)～14日(日)

●料金：前売1000円／当日1200円

●会場：ABCホール(福島・ほたるまち)

※チケットぴあ、ファミリーマート、サークルK、サンクスにて、2月6日より発売開始!

<広報・事務局 お問い合わせ>

大阪アジア映画祭 実行委員会 事務局 (担当:音居)

〒530-0014 大阪市北区鶴野町4番 B-801 TEL.06-6373-1225 FAX.06-6373-1213

E-mail: press@oaff.jp

<ホームページ> <http://www.oaff.jp/>